

青森博物研究会會報 第二號
(昭和十年十二月) 40. - 43頁

青森縣に於ける
兩棲類の分布

和田 千藏

青森縣に於ける兩棲類の分布

和田 千藏

青森縣は本州の北端に位し三面を繞らすに海を以てす。東は太平洋、西は日本海に面し海岸は津輕式にして多くは斷崖を示せり。陸土は山岳に富み温帶林の林木繁茂せる夏綠林に富み、林中湖沼河川等の陸水豊富なるを以てこれに適應せる兩棲類の種族多しとす。加之地質學的に朝鮮海峽及び津輕海峽存在するを以て彼等移動の障壁となり、北海道以北と著しき分布上の差異あり、予は大正十一年來本縣産兩棲類を採取したるが今回其の結果を整理したるを以て表題の下に記述し會員諸氏の御參考に供せんとす。

青森縣産兩棲類目録

(A) 無尾目 ANURA

蟾蜍科 BUFONIDAE

- (1) *Bufo vulgaris formosus* BOULENGER. **ヒキガヘル**
 方言 ガマモツケ (一般) ウス (白) モツケ (上磯地方) フクダ
 ゲヤアロ (上北郡六戸村)
 採取地 尻屋、大間、龍飛、十二湖畔、八甲田山、内眞部森林、弘前
 青森

雨蛙科 HYLIDAE

- (2) *Hyla arborea japonica* GUENTHER. **ニホンアマガヘル**
 方言 アヲビキ、アヲモツケ (一般)
 採取地 大間、川内、龍飛、大湊、雲谷、八戸、三本木、岩崎

赤蛙科 RANIDAE

- (3) *Rana nigromaculata nigromaculata* HALLOWELL. **トノサマガヘル**
 方言 シマビツキ、ヤナギビツキ (津輕地方)
 採取地 十二湖畔、三厩、淨水場、淺蟲、碓ヶ關
- (4) *Rana temporaria temporaria* LINNAEUS. **エゾアカガヘル**
 採取地 大間 (昭和九年六月)

- (5) *Rana temporaria ornativentris* WERNER ヤマアカガヘル
方言 アカビツキ (一般)
採取地 十二湖畔、八甲田山、岩木山、大間、恐山、八戸、青森、
弘前、龍飛、内眞部森林
- (6) *Rana japonica* GUENTHER. ニホンアカガヘル
採取地 三戸郡賣市村 (昭和八年六月)
- (7) *Rana rugosa* SCHLEGEL. ツチガヘル
採取地 十二湖畔、金木、青森、三厩
- (8) *Rhacophorus schlegelii schlegelii* (Guenther) BOULENGER
シュレーガアラガヘル
採取地 内眞部森林 (八角堂裏の池)、鮫、大間、弘前、野邊地
三本木
- (9) *Rhacophorus schlegelii arborea* (Okada et Kawano) OKADA.
モリアアラガヘル
方言 アヲモツケ (卵塊をアブ又はモチミ云ふ)
採取地 八甲田山、十二湖、梵珠山、馬立場、田代温泉、鳶温泉、
萱野茶屋、大湊
- (10) *Polypedates buergeri* (SCHLEGEL) BOULENGER. カジカガヘル
方言 カハズ、カジカ (一般)
採取地 葛川下流、八甲田山寒水澤、碓ヶ關、奥戸、佐井、大釋迦
田代温泉、十和田湖畔宇樽部
- 以上の外昭和四年六月、八甲田山寒水澤橋の袂にて採集せし一種は *Rana tagoi* タゴガヘルと形態習性極めて酷似す。

(B) 有尾目 URODERA

山椒魚科 SALAMANDRIDAE

- (1) *Diemyctylus pyrrhogaster* (BOIE). キモリ
方言 アカハラ (一般) カラボ (造道)
採取地 十和田湖、八甲田山(高田菴)、内眞部森林(八角堂裏の池)
大間
- (2) *Hynobius lichenatus* (BOULENGER). トウホクサンセウウヲ
方言 サンソカジカ
採取地 内眞部森林、八甲田山、碓ヶ關、梵珠山、浅蟲、夏泊半島
細越

- (3) *Hynobius nigrescens* BATE **ニツコウサンセウウヲ**
方言 サンソカジカ 地方人は卵塊を「戸和田(山の水溜の義)の餅」と稱し、其の多少により豊凶を判断する風習あり
採取地 内眞部森林、八甲田山(鏡沼及び仙人平)、南郡唐竹

- (4) *Onychodactylus japonicus* (HOULTUYN) **ハコネサンセウウヲ**
方言 サンソカジカ
採取地 八甲田山の井戸岳及田茂菴澤溪流、奥戸川(下北郡)、佐井の原田川、南郡山形村袋

大山椒魚科 **AMPHIUMIDAE**

- (5) *Megalobatrachus japonicus* (TEMMINCK) **ハンザキ**
方言 オカワニ

採取地 東津輕郡高田村字月野(大正十一年)に出でしこさあり
以上本縣には二目五科九屬八種七亞の兩棲類を産することを知れり、されど尚二、三の未同定のものあるが故に他日の整理により増補するこませり。

青森縣に於ける兩棲類の分布狀況

本縣産兩棲類には熱帶要素のもの及び北地要素のもの等混成すれども、本州は地理的に温帶なるを以て温帶要素のもの最も多し。而して分散狀況は各種毎に濃淡あり、最も濃きはニホンアマガヘルにして日本海面傾斜地の平地に多く海拔標高二百米を超えず、ヒキガヘルは各所に分散すれども前者の如く同一地區に饒産せず、されど平地より海拔一千四百六十米の岩木山種蒔苗代の高地に産卵す、トノサマガヘルは平地性にしてニホンアマガヘルと共に日本海岸傾斜面地域に多く西津輕郡十二湖畔及び附近のものは我國中部産のものに等しく體表面に綠色の被覆物を被り頗る鮮美なり。ツチガヘルは最も少く原野の溜池に普通なるを以て通常人目に觸るるこま少し、エゾアカガヘルは北方系のものにして大間附近に散見し、ニホンアカガヘルは日本南部のものにして三戸郡各地に迄北上し何れも一般に注目せらるるに至らず、ヤマアカガヘルは平地の水田より高山の樹林乃至濕原に汎く分布し八甲田、十和田山中に多く海拔一千五百米以上の地帯に於ても認めらる。シュレーゲルアヲガヘルは熱帶要素の一にして縣下各地に認められ人家附近の水田、沼澤地に多く下北郡大間は世界最北限地なり。モリアカガヘルも熱帶要素の一にして八甲田山は全國的に大規模の蕃殖地せせらる。本縣下北郡赤川村は世界最北限地なり。キモリは平地より一千四百米の高地の湖沼に棲み、トウホクサンセウウヲも平地の水溜より一千五百米の高山に棲み、ニツコウサンセウウヲは深山清流乃至一千五百米附近の湖沼に迄産卵す、ハコネサンセウウヲ

は溪流に棲み平地及高山の水溜には棲まざるも一千五百米餘の高山中に棲息し居れり。ハンザキは元來當地に産せざるものなれども大正十一年に一尾採集せられ、余はその標本を藏す珍奇のものとする。

今本縣産兩棲類分布表を掲げ全國的分布關係を示さん(表中×…分布)

標準和名	分布區域							備考
	樺	北	朝	滿	青	本	四	
ヒキガヘル	:	:	:	:	×	×	:	大間最北限
ニホンアマガヘル	×	×	×	×	×	×	×	北方系
トノサマガヘル	:	:	:	:	×	×	×	龍飛北限
エゾアカガヘル	×	×	×	×	:	:	:	大間南限
ヤマアカガヘル	:	×	×	:	×	×	×	分布廣汎
ニホンアカガヘル	:	:	:	:	×	×	×	三戸郡賣市北限
ツチガヘル	:	:	×	:	×	×	×	三厩北限
シュレーゲルアラガヘル	:	:	:	:	×	×	×	大間北限
モリアラガヘル	:	:	:	:	×	×	?	下北郡赤川北限
カジカガヘル	:	:	:	:	×	×	×	奥戸川北限
キモリ	:	:	:	:	×	×	×	大間北限
トウホクサンセウウラ	:	:	:	:	×	×	:	下風呂北限
ニツコウサンセウウラ	:	:	:	:	×	×	:	平館村野田北限
ハコネサンセウウラ	:	:	:	:	×	×	:	奥戸川北限
ハンザキ(オホサンセウウラ)	:	:	:	:	×	×	?	珍稀品

上表により北海道以北との關係を見るに、北海道と共通するものは二%、朝鮮及び滿洲と共通するもの三%にして、他は本縣を以て北限を示し居るものなり。北限を示すものは熱帯系のもので及び本邦固有種にして、南限を示せるは北方系統のエゾアカガヘルあるのみなり。これを判然せしむるものは分布障壁となる津輕海峽にしてこの海峽成立後に尙一回朝鮮と陸接せしこゝを推察し得べし。要之青森縣に於ける兩棲類は本州特産のものに北方系のもゝ南方系のもゝ相混淆せる分布相を示すもの云ふべし。又分布區域を本縣中央山脈を基準として東西に區分する時は、その東方太平洋面傾斜地は親潮の作用を受け乾燥するを以て、兩棲類の分散はその西方たる日本海面傾斜地に比し一般に貧弱なる傾向を有せり。この點より考察するに最北端なる大間に於ては實に熱帯寒帶兩系の兩棲類を産するを以て顯著なり云ふべし。